



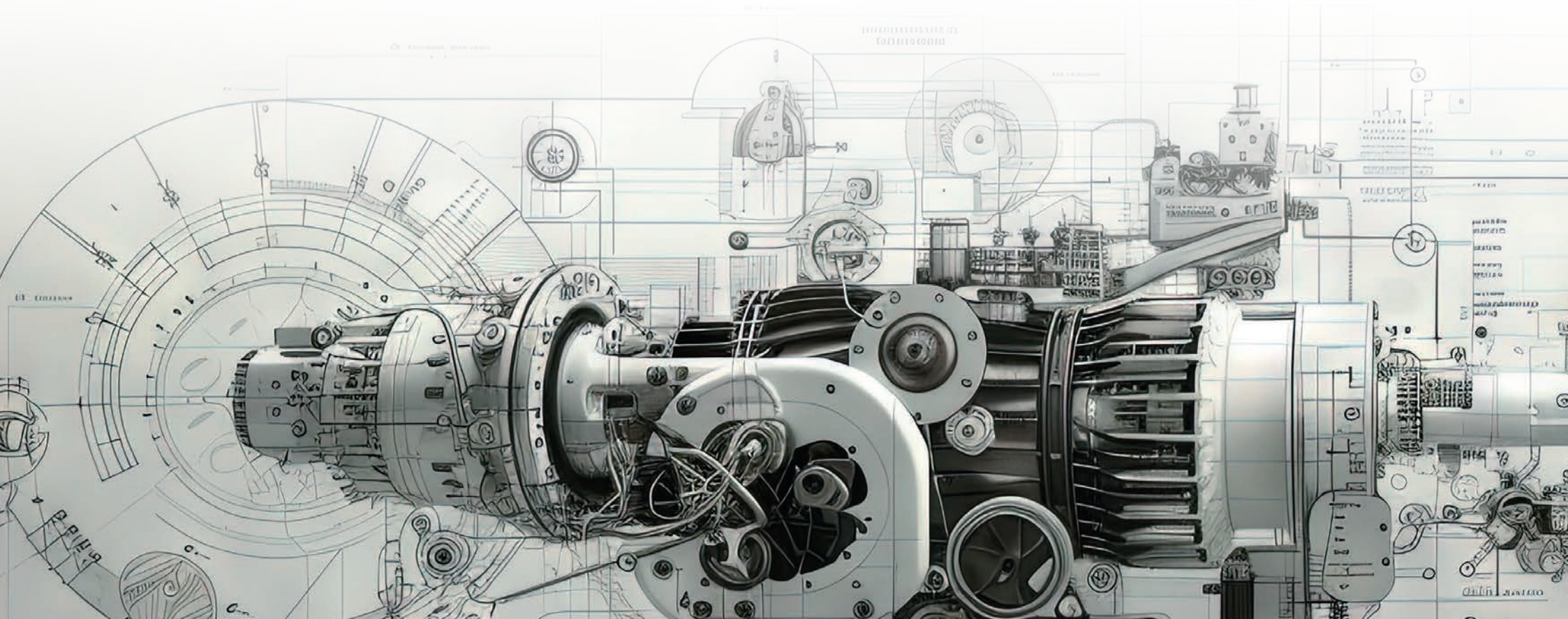
日大理工

機械工学科

Department of Mechanical Engineering

「作る」 知識を持ったエンジニアを 育成

近年、社会のニーズは、大量消費時代から環境問題や資源のリサイクルなど、地球に優しく快適な生活を求める時代へと大きく変化しました。機械工学は“ものづくり”を通して、人々の暮らしを豊かにするための総合的な学問分野です。このような大きな目標を実現していくためには、幅広い知識と実体験に基づいた統合的な能力が必要となります。そこで本学科では、現代のエンジニアとして国内はもとより世界で活躍できる、創造性豊かなバイタリティある技術者を育成することを目指しています。



教育研究上の 目的

機械工学はものづくりを通して、人間生活を豊かにするための総合的な学問である。その機械工学を構成している自然法則の基礎的な理論や概念に立脚し、高度情報化した社会のニーズに応えることのできる創造性豊かな技術者を養成する。



学習・教育目標

1 工業を支える 機械工学に対応した基礎教育

機械工学は、人間生活を豊かにするために必要であれば、幾多の困難をも克服してそのニーズに応じて行かなければならない。その分野は広がりこそすれ、狭まることはなく、その発展を支える基礎を重視して教育を行う。

2 ものづくりを推進する 実践教育

機械工学が人間生活を豊かにする具体的なものを提供するには、「ものづくり」があって可能となるので、その目的意識を明確にし、「ものづくり」に携わって得られる充足感を実践教育の中で享受しながらさらに自らを高める鍛錬を行う。

3 活躍の場を広げる グローバルな視野の養成

機械工学が対象と考える人間社会は地球上において高度に連携が深まっているので、それに対応できる能力を備えるとともに、万人の幸福を見据えた視点から行動を定めていく理念を持てる教育を行う。

4 機械工学技術者としての 誇りと倫理観を持てる教育

機械工学技術者に対する要求は高まる一方ではあるが、それに答えることによる達成感も大きくなり、高い理念に対する尊敬も深まることとなる。これらより自らの誇りを確固たるものとして、機械工学技術者としての倫理観を培いながら意欲を高揚させることができる教育を行う。

製造業の要

自動車などの機械をはじめ、
文房具・日用品・食品・衣料など身のまわりの
すべての“もの”は機械で製造されます。
これらすべての“もの”を創り出すための
専門知識を「**機械力学・制御**」「**材料力学**」
「**熱力学**」「**流体力学**」の
一般的な機械工学の4力学に加え、
“つくる”ための専門知識である「**加工学**」を
5本目の柱としたカリキュラムで学び、
“ものづくり”ができるエンジニアを目指せます。



振動の制御、自動車の操縦性

機械力学・制御系

Mechanical Dynamics and Control

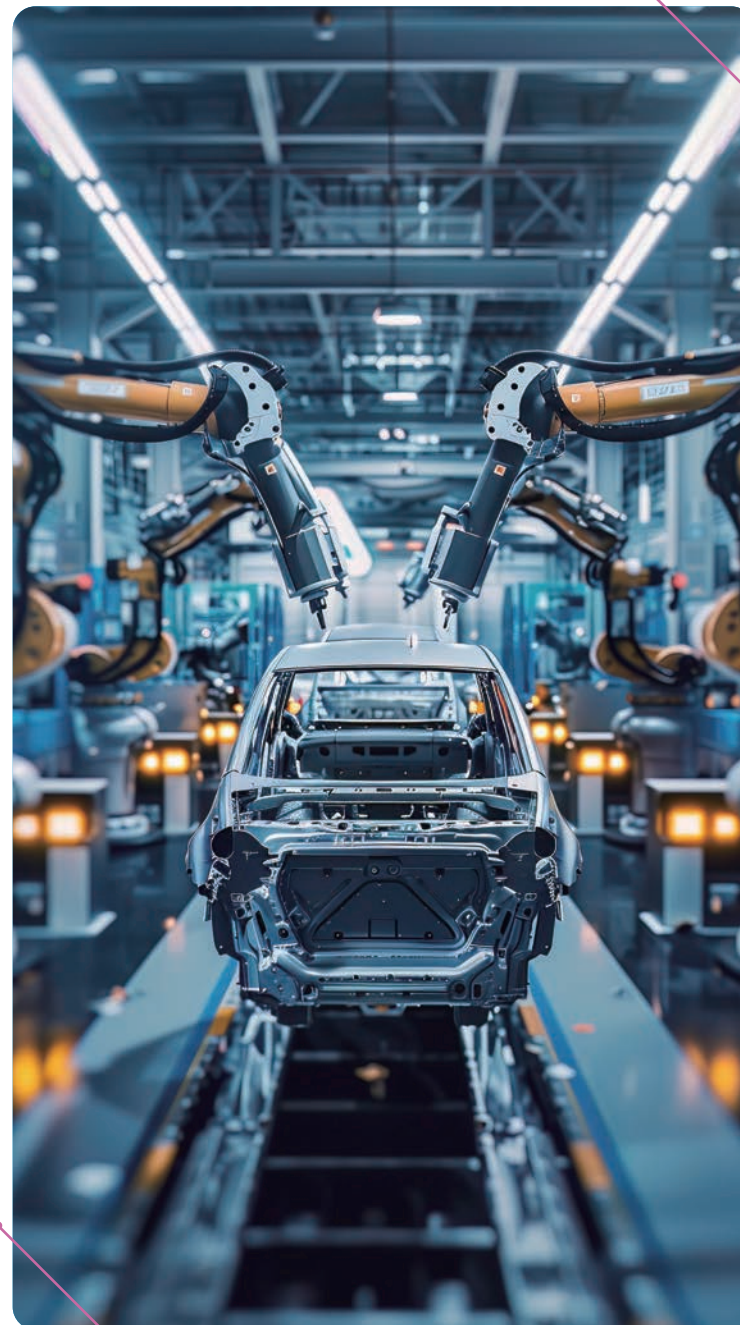
自 動車や二輪車の操縦安定性、鉄道車両の乗り心地、ロボットアームの精密な動作、そして建築物の制振性の向上といった、機械システムの運動性能や、機械および建築物の振動特性を考える分野が、運動と振動の制御に関する専門領域です。本系列では、機械の運動・振動メカニズムを物理法則に基づき解明する「機械力学」と、機械を所望の通りに動作させるための理論と手法を学ぶ「制御工学」を二つの柱としています。これらは、様々な機械システムを設計する上で基礎となる重要な分野です。機械力学・計測制御系列内の4つの研究室では、これらの学問を礎に、個人適合型運転支援システムおよび緊急時の運転支援システムの研究、医工学連携による脳波・バイタルサインを活用した人間中心の自動車安全研究、二輪車の利活用や電動キックボードの特性解析といったパーソナルモビリティ研究、鉄道車両の曲線通過性能と高速安定性の向上、テンセグリック機構を用いたロボットアーム機構の提案、連結制振などによる建築物の振動制御技術といった、多岐にわたる課題に取り組んでいます。これらの研究では、システム全体の挙動を物理法則に基づいて解明・制御し、より安全で快適な社会基盤の構築に貢献しています。



▲ 理論への理解を深める制御実験
「機械工学実験ⅡA」でのモータ制御実験の様子です。座学で学んだ制御理論を、実際の装置を動かしながら実践的に学びます。



▲ 安全なモビリティ社会を創る技術
シミュレータで走行環境を再現し、事故低減に向けた高度な車両制御アルゴリズムの開発に取り組んでいます。

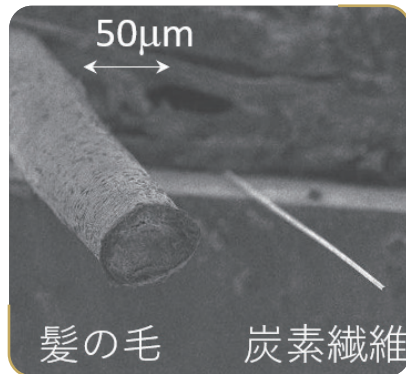


材料の変形と強度・安全性

材料力学系

Strength of Materials

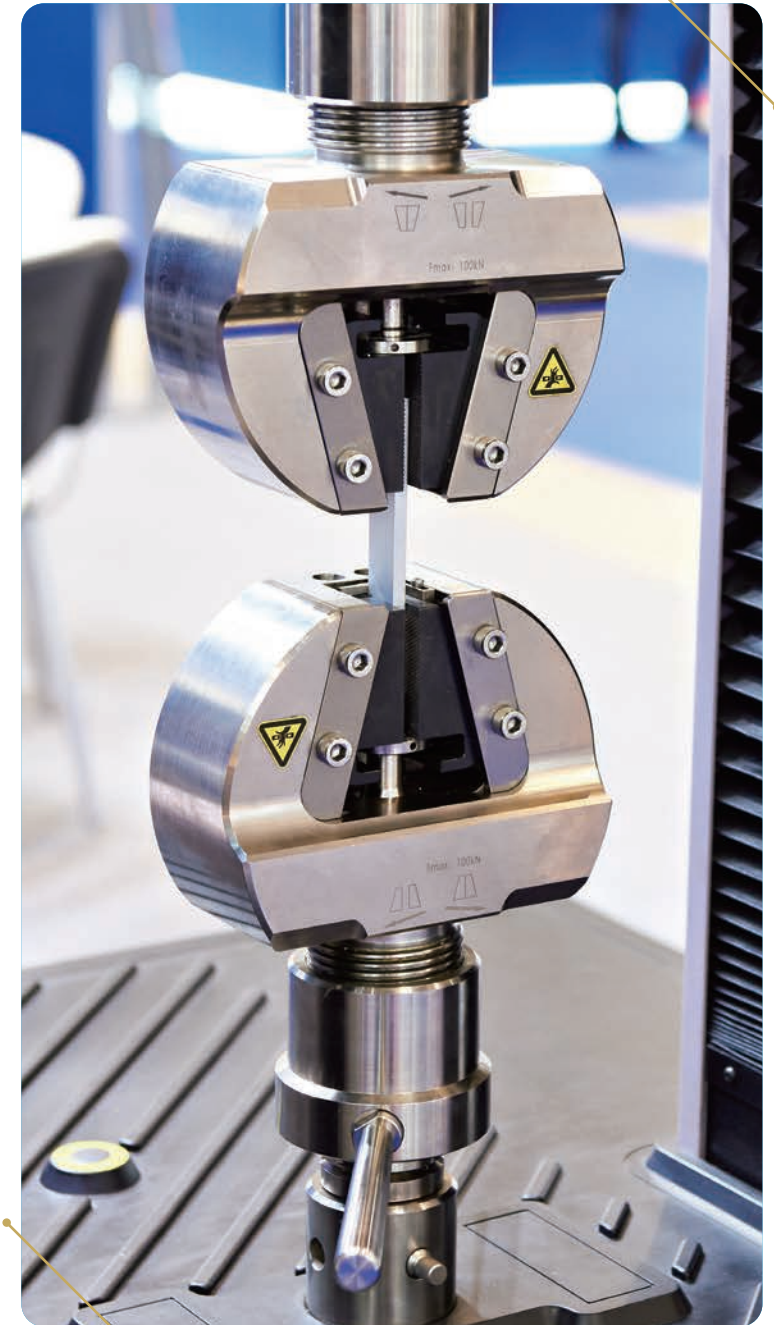
材料の力学特性を考慮して適切な形状設計を行い、機械構造に必要な剛性や強度を確保しながら最大限の軽量化を実現するのが材料力学です。金属などの単一材料から複合材料まで、様々な材料に対して高い信頼性を有する構造設計を行うための研究に取り組んでいます。また、更なる機械構造の軽量化を目指してプラスチックのように軽量でありながら金属以上の強度を持つ炭素繊維強化プラスチックを対象にした研究や、高信頼性を目指して繰り返し荷重を受けても破壊しない構造設計や、塑性変形と粘性変形に代表される非弾性解析や、さらには大変形解析に取り組んでいます。



▲ 超軽量化を目指す複合材料の力学解析
ミクロンサイズの材料評価から材料破壊を予測し、構造健全性を保証するための研究を進めています。



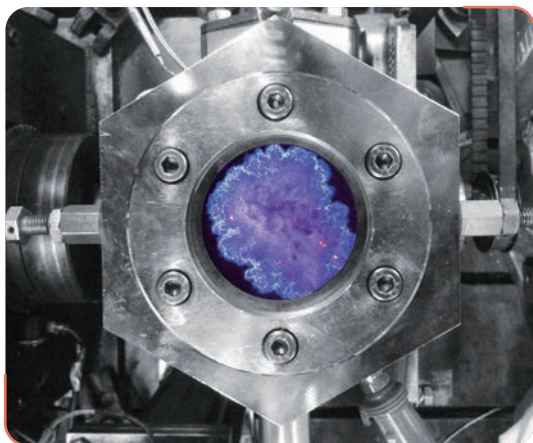
▲ 溶接構造の疲労寿命予測手法に関する研究
溶接構造（スポット、アーク、レーザー）について、公称構造応力を用いた疲労寿命予測手法を検討しています。



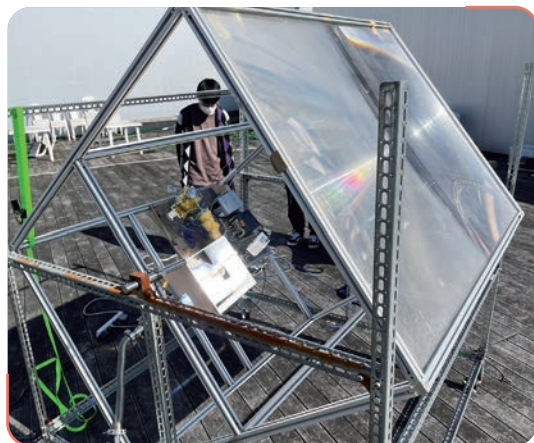
熱力学系

Thermodynamics and Heat Engineering

熱力学とは、エネルギーがどのように移動し、どのように仕事へ変換されるかを明らかにする学問であり、自動車のエンジンや発電所、冷暖房装置など、あらゆるエネルギー機器の設計原理に関わっています。本学科では基礎概念を学び、さらに応用科目を通じて、熱を用いた機械システムの設計・解析能力を養います。また、熱・燃焼・エネルギー変換をテーマとした研究が進められています。エンジンの高効率化・クリーン化を目指し、自らが設計した可視化エンジンによる燃焼メカニズムの解析や、化石燃料からの代替燃料である水素・e-Fuelによるエンジン燃料の研究を展開しています。さらに、再生可能エネルギーである太陽熱の有効利用や熱や流れの制御を通じた新技術開発に取り組んでいます。このように、基礎から応用、そして最先端研究へと体系的に学べる環境を通じて、未来のエネルギー問題の解決に貢献できる技術者の育成をしています。



▲ 可視化エンジンを用いた燃焼メカニズム解明
エンジン高効率化・カーボンニュートラル化に向けた燃焼メカニズムの研究。



▲ 太陽光集光による太陽熱の有効利用
太陽光集光を熱源としたクリーン水素の生成。

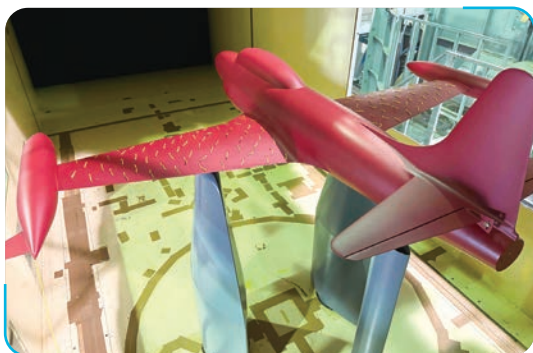


流れの効率的利用

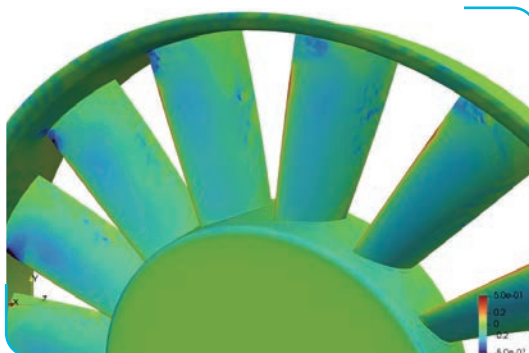
流体力学系

Fluid Dynamics

流体力学は、気体や液体の運動を対象としています。流体力学の研究は、アプローチ手法により、理論的研究、実験的研究、数値シミュレーションに分けられます。実験的研究は、風洞とよばれる均一で乱れの小さい一定速度の流れを維持できる装置や熱線流速計とよばれる流速を測る計測器、超音波やレーザーを用いた装置など多様な装置や計測器を駆使することで、目に見えない流体現象を捉えることができます。数値シミュレーションは、流れの支配方程式である質量保存則、運動量保存則、エネルギー保存則を用いて、数値的に流体現象を計算機上で再現することができます。流体力学系は、機械工学のうち流体に関する工学的問題について、実験的研究と数値シミュレーションを併用しながら、研究対象別に基礎研究から応用研究まで幅広く取り組んでいます。基礎研究としては、層流乱流遷移や粉体のアクティブ制御、乱流境界層と空力音に関する研究を実施しています。応用研究としては、小型風車に関する研究、粉体輸送に関する研究、自動車まわりの流れ、血液などを対象とした医療工学に関する研究を行っています。



▲「機械工学実験ⅡB」風洞実験
航空機の翼まわりの流れ構造のタフト法による可視化の例。



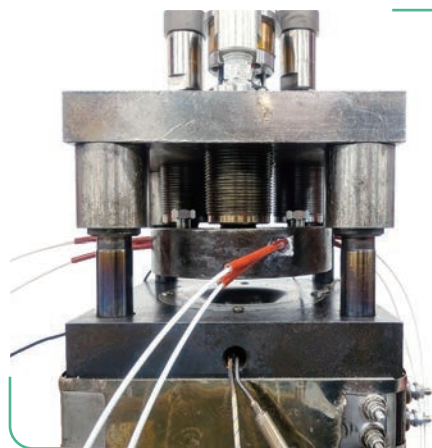
▲軸流ファンの圧力分布
準直接シミュレーションを用いた高効率軸流ファンの性能予測。



加工学系

Manufacturing

工業製品 (= 私たちの身の回りにあるほとんどのもの) はいくつもの部品から構成されており、そのすべての要素は工作機械や産業機械によって加工されています。加工法には、刀鍛冶が日本刀を作るように材料を叩いて伸ばして製品を作る塑性加工や、砥石で包丁を研ぐように材料を削って磨いて製品を作る機械加工などがあります。これらの技術を進化させ、より高精度で短時間に部品を作っていくことがモノづくりには大切です。本学科では他の大学の機械系学科と比較しても珍しい「加工学系」として、これらの加工技術のうち、自動車や新幹線などの輸送機械の軽量化のためのアルミニウム合金の押し出し加工や熱可塑性炭素繊維強化プラスチックのプレス加工といった塑性加工と、工具となる砥石表面の測定技術を活用した研削加工面の予測システムの開発や研削加工現象の解明といった機械加工の2本柱でモノづくりの根幹を支える加工法を研究しています。



▲ リサイクル CFRP の塑性加工
使用済みの炭素繊維強化プラスチックを熱で溶かして新たな製品に生まれ変わらせる加工法の開発。



▲ 砥石表面の測定装置の開発
研削加工に用いられる“砥石”の表面状態を高精度に測定するための装置の開発。



学びの特徴



機械設計製図

エンジニアに必須のスキルである図面の読み描き。手描きから始めることでルールを身につけます。



1年次

<船橋キャンパス>



機械工学実験

4力学、加工学、機械要素などの講義とリンクした実験で理論と現実を結び付けて理解を深めます。



2年次

<駿河台キャンパス>
(御茶ノ水)



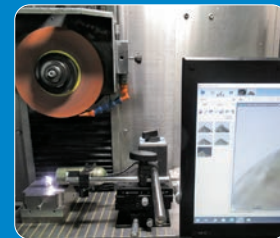
機械工学キャリアデザイン

将来の仕事・キャリアについてイメージできるよう、業界・職種の仕事内容、様々な分野で活躍する機械エンジニアの実例をオムニバス形式でOB・OG等に紹介いただきます。インターンシップでの単位認定もあります。



3年次

<駿河台キャンパス>
(御茶ノ水)



卒業研究

機械力学・制御、材料力学、熱力学、流体力学、加工学の各専門領域に分かれ最先端の研究を行います。新たに修得する高度な専門知識だけでなく、これまでの講義で修得した知識、製図や実験の経験・知識も活用して総合力を磨きます。



4年次

<駿河台キャンパス>
(御茶ノ水)



実践を重視した充実した実技科目

専門教育科目一覧

機械工学科では、それぞれの科目を効率よく学習するために、下図のように各科目に関連性をもたせ学習していきます。(A)の技術者倫理学習目標では、「機械工学インセンティブ」科目において、機械工学を学ぶ上での意義や、エンジニアとしての自覚を与えます。そして(B)から(E)の専門科目で、それまで学んできた能力をもとに、エンジニアとして必要な専門能力を身につけていくことになります。

■ : 必修科目 ■ : 選択必修科目 ■ : 選択科目

学習・教育目標	授業科目名							
	1年次		2年次		3年次		4年次	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
(A) 技術者倫理・工学実践	機械工学 インセンティブ	メカニクス基礎				機械工学 キャリアデザイン		
(B) 専 門 機械力学系 材料力学系 流体力学系 熱力学系 加工学系			機械力学Ⅰ 機械力学・ 材料力学演習 A	機械力学Ⅱ 機械力学・ 材料力学演習 B	機械力学Ⅲ 動的システム	振動工学 制御工学Ⅰ	自動車運動力学 制御工学Ⅱ	先進自動車システム ロボット工学
			材料力学Ⅰ 機械力学・ 材料力学演習 A	材料力学Ⅱ 機械力学・ 材料力学演習 B	材料力学Ⅲ 弾性学Ⅰ	軽量構造力学 弾性学Ⅱ	FEM 構造解析	
			流体力学Ⅰ 流体力学・ 熱力学演習 A	流体力学Ⅱ 流体力学・ 熱力学演習 B	流体力学Ⅲ	流体工学Ⅰ	流体工学Ⅱ	数値熱流体工学
			熱力学Ⅰ 流体力学・ 熱力学演習 A	熱力学Ⅱ 流体力学・ 熱力学演習 B	熱力学Ⅲ 内燃機関	熱流体工学 ガスタービン	伝熱工学	
					機械の材料	塑性と加工	生産システム	
			機械工作法Ⅰ	機械工作法Ⅱ	機械加工学	工作機械		
			機械要素Ⅰ	機械要素Ⅱ				
(C) 実習・実験・設計製図	機械設計製図Ⅰ A 機械工作実習 A	機械設計製図Ⅰ B 機械工作実習 B	機械設計製図Ⅱ A 機械工学実験Ⅰ A	機械設計製図Ⅱ B 機械工学実験Ⅰ B	CAD/CAM 機械工学実験Ⅱ A	機械工学実験Ⅱ B		
(D) 電気・計測・ データ処理				電気の基礎Ⅰ コンピュータプログラミングⅠ	電気の基礎Ⅱ コンピュータプログラミングⅡ エンジニアリングアナリシス	計測工学		
(E) 総 合						機械工学総合演習 機械工学特殊講義	卒業研究	

進路・就職について

仕事の分野は **無限大!!**
私たちの身の回りにあるものを作るのは
機械エンジニア!

▶幅広い進路選択

機械工学科を卒業すると、基本となる生産技術、機械設計に加えて、システム全体をみる能力やコンピュータ・電子回路の知識、さらに制御技術や高い解析能力が身につきます。

卒業後の進路は、自動車、輸送機器関連、電気、電子などの製造業、建設業、情報サービス業など幅広い分野に広がっています。また、1/4程度の卒業生が本学の大学院に進学しています。

▶就職について

就職活動は大学の推薦によるものと、自由応募に大別されます。大学の推薦による就職とは、学校に対して推薦依頼のあった企業を学校の推薦状をもって受験することで、有利に選考を進めることができます。多くの業界で必要とされる機械工学を専攻した学生を求め毎年、自由応募・推薦応募併せて機械工学科に直接300社を超える企業から求人が来ております。



▶大学院について

日本大学大学院理工学研究科機械工学専攻は、より高度な学術研究を行うために設置されており、本学でもその充実に力をいれています。博士課程は前期2年と後期3年に区分されており、前期の2年が修士課程として取り扱われています。

▶大学院で身につけられること

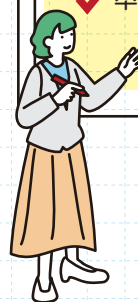
大学院ではより高度な研究を行い自分の力で修士論文を仕上げる過程において、学生同士あるいは教員との議論や専門学会での研究発表と意見交換を通して、幅広い知識や発表能力を身につけることができます。また研究室の4年生の上に立って導いていくことでリーダーシップの経験も身につけられます。これらのことは実社会に出ても役に立つことでしょう。



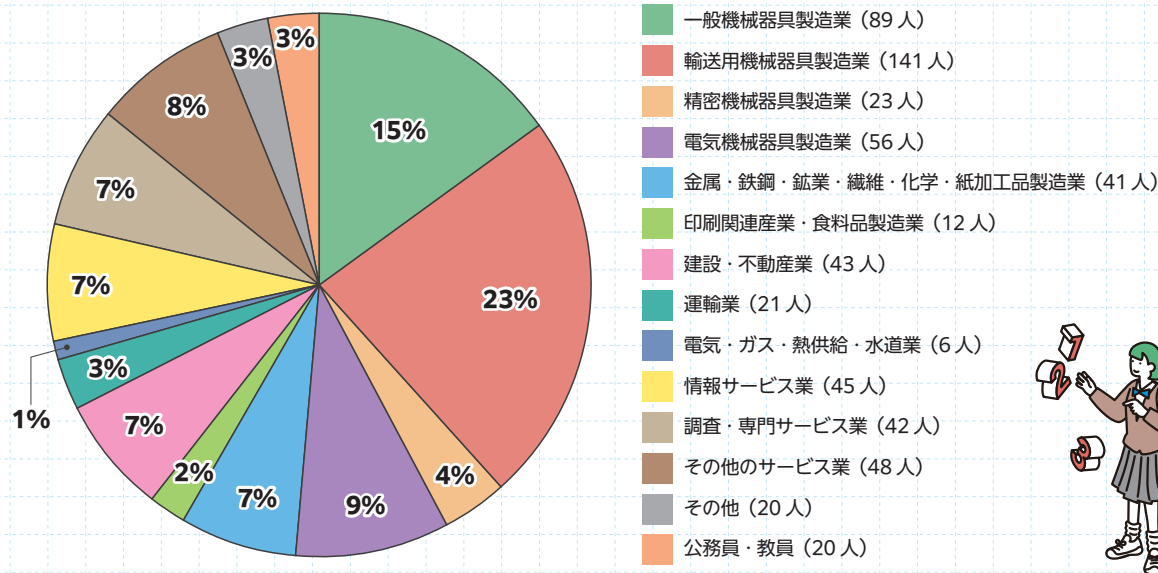
機械工学科における各種就職支援

- ✓ 機械工学キャリアデザインにてインターンシップ、企業による業界・職種紹介、エントリーシート対策
- ✓ 就職ガイダンスの開催
- ✓ 求人情報の提供（掲示やメール配信）
- ✓ 募集要項や実績の開示（学科専用の就職関係資料閲覧室があります）
- ✓ 就職に関する相談（就職担当教員らが対応）
- ✓ 卒業生などによる学内説明会の開催

その他情勢をみながら、常に各種支援を検討しています。



過去5年における入社企業の業界(学部+大学院)



機械工学科卒業生の主な就職先

一般・輸送用・精密・電気・医療機器 ▶トヨタ自動車/日産自動車/本田技研工業/マツダ/IHI/三菱重工業/川崎重工業/SUBARU/スズキ/日野自動車/いすゞ自動車/UDトラック/三菱自動車工業/ダイハツ工業/Astemo/ヤマハ発動機/ショーワ/カヤバ/トヨタ車体/日産車体/トヨタ自動車東日本/ジャトコ/アイシン/曙ブレーキ工業/プレス工業/小糸製作所/トピー工業/NOK/カナデビア/川崎汽船/三井E&S/日立建機/住友重機械工業/芝浦機械/月島機械/シチズン時計/理想科学工業/タカラベルモント/オリンパス/松風/牧野フライス製作所/アマダ/小森コーポレーション/三浦工業/日本精工/ジェイテクト/ヤマザキマザック/JUKI/ジャノメ/NTN/ミネベア/オルガン/SMC/THK/小松製作所/クボタ/タダノ/エー・アンド・デイ/日立製作所/東芝/キヤノン/三菱電機/NEC/TDK/京セラ/ゼネラル/コニカミノルタ/ニデック/ニデックインスツルメンツ/新明和工業/マブチモーター/パイオニア/スタンレー電気/矢崎総業/アルプスアルパイン/ティアック/国際電気/ユニデン/マキタ/横河電機/日本航空電子工業/ファナック/日本無線/日本電子/アスモ/テルモ/他

食品・化学・医薬・建設・環境・プラント・運輸 ▶アサヒビール/森永製菓/第一屋製パン/キッコーマン/赤城乳業/カルビー/レゾナック/京

セラ/キヤノンメディカルシステムズ/富士フィルムメディカル/大王製紙/レンゴー/セーレン/オカムラ/TOYO TIRE/横浜ゴム/オカモト/ゼブラ/三菱鉛筆/ぺんてる/タカラトミー/鹿島建設/大成建設/清水建設/竹中工務店/大林組/安藤・間/三井住友建設/積水ハウス/東芝エレベーター/三菱電機ビルソリューションズ/日立ビルシステム/東芝プラントシステム/三井化学/ニフコ/月島環境エンジニアリング/日本道路/前田道路/高砂熱学工業/新菱冷熱工業/新日本空調/大気社/三機工業/東日本旅客鉄道/東海旅客鉄道/日本航空/全日本空輸/東京地下鉄/東武鉄道/西武鉄道/東急電鉄/ロジスティード/日本貨物鉄道/日本通運/他

金属・鉄鋼・窯業・印刷 ▶三井金属/MAアルミニウム/日本発条/日本軽金属/フジクラ/YKK/YKKAP/古河電気工業/三菱製鋼/JFE鋼板/旭テック/日本冶金工業/TOTO/INAX/東洋製罐/大日本印刷/共同印刷/TOPPAN/他

情報・通信 ▶ソフトバンク/東京ベイネットワーク/LINEヤフー/NTTドコモソリューションズ/NTTインテグレーション/三菱電機デジタルイノベーション/富士ソフト/伊藤忠テクノソリューションズ/日立情報システムズ/大塚商会/関西テレビ放送/他

公務員・教員 ▶国家公務員/地方公務員/大学・高校・中学校教員/他

資格・制度について

本学科では、教職や学芸員を含む多彩な資格・検定の取得を目指します。就きたい職業や研究内容に最適な資格の提案から、技術士第一次試験対策といったピンポイントの資格対策講座も開講し学生を支援しています。

●危険物取扱者試験対策プログラム

エンジンに使用する燃料、アルコール、試薬などの危険物に指定されている化学製品を扱うこともあるため、危険物取扱者免状取得を目指したプログラムも用意されています。機械工学科に設置してある指定の科目を修得することにより消防法上の全ての危険物の取り扱いが可能な国家資格「危険物取扱者(甲種)」の受験資格を在学中に取得できます。

●技術士第一次試験対策プログラム

技術士は、国によって認められた、科学技術の応用面に携わる技術者にとって最も権威のある国家資格です。試験は、科学技術全般にわたる幅広い分野から出題される基礎・適性と、自身の技術部門に関する深い知識が問われる専門科目で構成されます。理工学部では在学期間中に、第一次試験突破を目指し対策講座を実施しています。

合格者の声

大沼くん

資格取得は将来のキャリアアップに役立ち、また現在の実力を測るのにふさわしい機会だと考え、技術士への登門である技術士第一次試験を受験しました。試験は基礎科目・適性科目・専門科目の3科目があります。基礎・適性科目対策講座を受講した後、過去問題を何度も解きました。専門科目も機械部門対策講座を受講後に過去問題を解き、大学の授業で学んだ4力学の基礎も同時に復習しました。本試験では問題を見るだけで答えを絞れたものが多くあり、対策講座や大学の授業が合格につながったと思います。将来は社会のニーズに対応できる技術者となるように、大学生のうちから自己研鑽を積み、さまざまな資質・能力を向上させていきたいです。



フォーミュラ工房

レース車を自作し、学生フォーミュラ日本大会に参戦

フォーミュラ工房の学生は、円陣会（1952（昭和27）年創設）という伝統ある日本大学理工学部の学術サークルに属し、自らの手でレーシングカーを設計・製作し、ものづくりを実践しています。機械工学科ではこの活動を支援しています。古くは乗用車の整備、走行テストなどに始まり、エコランへの出場などを経て、現在ではフォーミュラカーの製作に取り組んでいます。

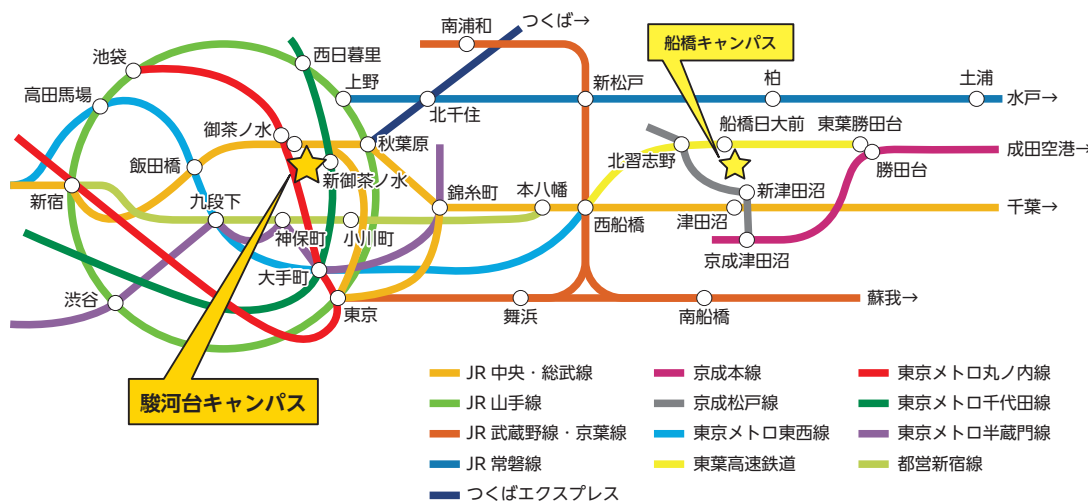
そして、製作したマシンで自動車技術会主催『学生フォーミュラ日本大会』に出場して



います。円陣会は2003年に開かれた前身の『第1回全日本学生フォーミュラ大会』より連続出場しています。この大会では、出来上がった車両の走行性能を競うだけでなく、車両のマーケティング、企画・設計・製作、コスト、協賛メーカーとの渉外等、実際の製品開発の際に必要な総合能力を競います。このプロセスを通じて、機械工学に関する基礎理論への理解を深めるとともに、実践での適用能力が養われ、それらの相乗効果により、ものづくりの総合力と、自主創造の気風が養われます。

大会を目指して新しいマシンを製作中です。支援していただいている方々に報いて安全に大会で成果が上げられるように頑張っています。

アクセス



駿河台キャンパス

所在地 ▶ 〒101-8308 東京都千代田区神田駿河台 1-8-14

交通 ▶ JR 中央・総武線「御茶ノ水」駅 下車徒歩3分
東京メトロ千代田線「新御茶ノ水」駅 下車徒歩3分
東京メトロ丸ノ内線「御茶ノ水」駅 下車徒歩5分

船橋キャンパス

所在地 ▶ 〒274-8501 千葉県船橋市習志野台 7-24-1

交通 ▶ 東葉高速鉄道「船橋日大前」駅 下車徒歩1分（東京メトロ東西線乗り入れ）

お問い合わせ先

所在地 ▶ 〒101-8308 東京都千代田区神田駿河台 1-8-14

タワー・スコラ 17階 S1711室
日本大学理工学部機械工学科・学科事務室
TEL: 03-3259-0753 / 0752
FAX: 03-3293-8254

E-Mail: cst.mech.www-ad@nihon-u.ac.jp



機械工学科を卒業した先輩たちは
全国の様々な分野で活躍中!



リニア中央新幹線開業という 歴史的瞬間の実現を目指して

リニア車両のメンテナンスや、開発工事・保守計画を工程管理する業務に携わっています。リニアというビッグプロジェクトに携わりながら、前例のないことにチャレンジできることは、とても魅力のある仕事です。リニア中央新幹線開業後のメンテナンスの理想像に近づけていくために、チームの仲間と試行錯誤しながら日々検討しています。

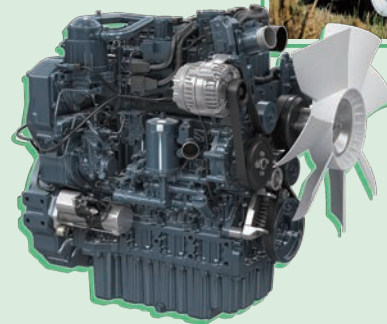
東海旅客鉄道株式会社 リニア開発本部
Sさん(東京都出身) 2013年度卒(岡部研究室)



自分の知識や経験が直接役立つ場面が多く、 成長を実感できる仕事です

トラクタの生産技術に関わる仕事に携わっています。この仕事の魅力は、自分で考えたアイデアや設備を実際に現場に導入できることです。自分の工夫が形になり、それが生産性の向上や品質の改善につながると、とてもやりがいを感じます。また、現場で発生する課題を技術的に解決できたときには、大きな達成感があります。

株式会社クボタ 生産技術課
Oさん(千葉県出身) 2021年度卒(飯島研究室)



学生の声

1年生

大変なこともあるけど、それ以上のものを得ることができる！

1年生の時から製図や実習など、今まで経験がないような授業を受けられたり、2年生以降は、より専門的な知識を学べるので、ものづくりに興味のある人やものづくりが好きな人には、もってこいの学科だと思います。いろいろな個性を持った人もいて、おもしろいし、キャンパス内を歩いていてもみんな楽しそうにしている良い雰囲気の学科です。

2年生

「機械」という大きな括りだからこそ、どの分野にも関わることができる！

いま将来何をしたいか決まっていなくても、ここに来ればきっと見つかります！世の中のモノは多くの分野で機械が関わっていることが多いので、どの業種でも機械工学科で学んだ知識をきっと活かすことができます。いまは人が行っている救助のような危険が伴う仕事や、人手不足となっている業界で使えるような機械が普及し、より安全で生活しやすい社会にしたいと私は思っています。

3年生

女性も働きやすい環境づくりや、ものづくりに貢献し、女性エンジニアとして活躍したい！

私の趣味は写真を撮ること。でもカメラは重くて一日中使っていると疲れちゃうんですね。カメラだけでなく、女性でも使いやすいような機械を設計したいと思ったのがきっかけで機械工学科を選びました。そして私の思い描く未来では、人とロボットが共存する世界が思い浮かびます。産業だけではなく、運搬や医療などもっと幅広く機械が活躍する時代になっていると思います。さらに機械工学の分野でも女性の活躍が期待されています。

大学院生

モノの設計から製造までのプロセスを授業や研究を通して体験できる！

機械工学科は歴史がありOBも多く、また学ぶ範囲も広いです。サポートも手厚いので、ものづくりに興味があればとても充実した学生生活を送ることができると思います。私は将来、新しい材料、新しい技術で造れる「モノ」の幅が広がり、それに即して機械工学は進化し続けると考えています。高校生の皆さんも是非ものづくりに興味を持って楽しい大学生活を送ってみてはどうでしょうか。

4年生

身近な技術から最先端の開発まで、自分の興味を活かせる自由度の高さが機械工学科です！

自動車やロボット、エネルギー機器など、分野がとても幅広く、学んだ知識をさまざまな形に応用できるところがこの学科の最大の強みです。機械工学科では、身のまわりのあらゆる「ものづくり」の仕組みを学ぶことができます。授業だけでなく、実験や設計製図など「手を動かして学ぶ」機会も多く、ものづくりが好きな人や、将来エンジニアとして活躍したい人にはピッタリの学科だと思います。将来の進路や就職先の選択肢も広がりますよ～！

